

世界M&A戦略株ファンド（愛称：目利き力）

第2期決算について

2021年12月2日

※当資料は、ニューバーガー・バーマンが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

平素は「世界M&A戦略株ファンド（愛称：目利き力）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2021年12月1日に第2期決算期末を迎え当期の収益分配金につきまして、450円（1万口当たり、税引前）と致しましたことをご報告申し上げます。つきましては、直近の運用状況についてご説明させていただきます。

なお当ファンドの分配方針は以下の通りとなっています。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ② 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

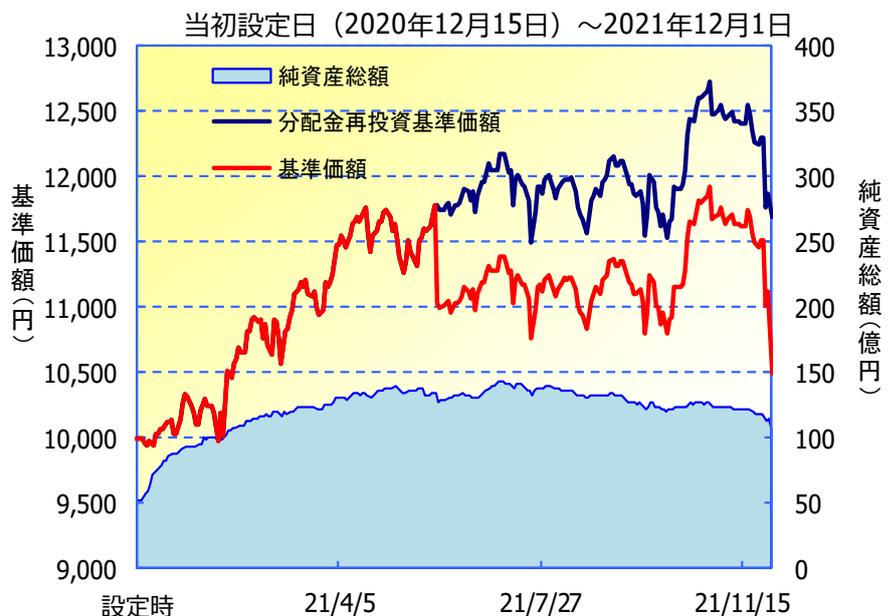
■ 基準価額・純資産・分配金の推移

基準価額	10,502 円
純資産総額	107億円

《分配の推移》
(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (21/06)	750円
第2期 (21/12)	450円

分配金合計額	設定来：1,200円
--------	------------



- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
- ※ 分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。
- ※ 過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

市場環境について

■ グローバル株式市場

グローバル株式市場は上昇しました。

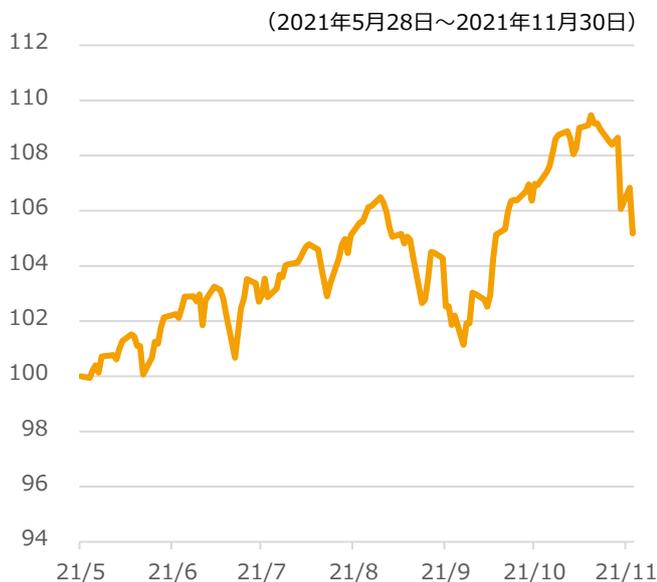
グローバル株式市場は、経済活動再開期待の高まりやバイデン米大統領のインフラ投資計画の進展などが好感され、9月上旬にかけて上昇しました。10月上旬にかけては、中国の恒大集団の資金繰り問題や、米国の債務上限問題、米金利上昇に対する警戒感など複数のリスク要因が嫌気され、下落しました。その後は、恒大集団が米ドル建て社債の利払いを行ったことや欧米企業決算が総じて順調であったことなどをを受けて上昇に転じましたが、11月下旬に南アフリカで発見された新型コロナウイルスの新たな変異株に対する警戒が広がり、下落しました。

■ 為替相場

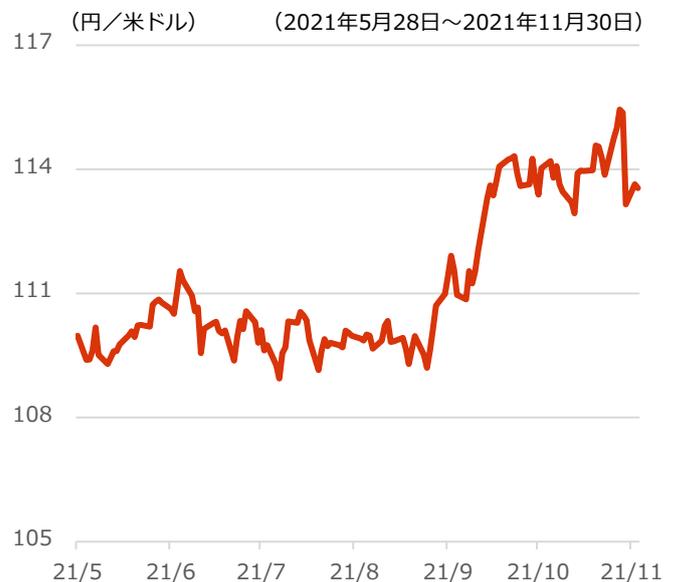
米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドル円為替相場は、9月中旬にかけてボックス圏で推移しました。11月中旬にかけては、中国恒大集団への懸念が一服し、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で市場の織り込みを上回る利上げ見通しが出されたことなどをを受けて上昇しました。その後は、南アフリカの新型コロナウイルスの新たな変異株への警戒感から下落しました。

■ グローバル株式の推移



■ 米ドル円為替相場の推移



※グローバル株式は、2021年5月28日を100として指数化しています。

※グローバル株式はMSCI ACWI Index（現地通貨ベース）を使用しています。

※MSCI株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) ブルームバーグ

運用のポイント

I 当ファンドのポイント

- ✓ 成長戦略として積極的にM&A（合併・買収）を活用し、企業価値の向上をめざす「M&A買収側企業」へ投資を行います。

企業の成長戦略として積極的にM&A（合併・買収）を活用する企業は、変化する社会経済情勢に素早く適応し、成長力を高めることができると考えます。当ファンドでは、有望企業を発掘する「インキュベーター」、優良事業を有利な条件で取り込む「コングロマリット」、事業統合で成長を加速させる「オペレーター」といった3タイプの「M&A買収側企業」に注目し、卓越した目利き力でM&Aを成功に導く「M&A巧者」を厳選します。

- ✓ 運用は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーが担当します。

同社は米国ニューヨークに本社を置き、世界中の投資家へ資産運用サービスを提供しているニューバーガー・バーマン・グループの一員で、80年以上にわたって蓄積された株式リサーチの知見を強みに、独自の運用プロセスで、「M&A巧者」を選定します。

・当ファンドの運用チーム

運用責任者



ティム・クリードン、CFA
マネージング・ディレクター
グローバル株式リサーチ部門
責任者



ハリ・ラマナン
マネージング・ディレクター
グローバル株式リサーチ・ファンド
CIO

運用体制

運用チーム総勢

44名

平均経験年数

19年

消費財	3名	エネルギー 公益	3名
ヘルスケア	3名	資本財 素材	6名
金融サービス	4名	テクノロジー メディア・通信	11名
その他	12名	専任ポートフォリオ マネージャー	2名

(2021年3月末時点)

(出所) ニューバーガー・バーマン

■ 当期の運用状況

当ファンドの分配金再投資ベースでの基準価額は小幅に下落しました。米ドルが対円で上昇したことは上昇要因でしたが、保有銘柄の株価が下落したことが下落要因となりました。

個別銘柄では、情報サービス企業のクラリベイトの株価が下落し、マイナス寄与しました。同社は教育機関や製薬企業、政府機関などに対して学術データや知的財産データなど専門性の高い情報に基づいた分析サービスを提供しています。同社が発表した学術論文のデータベース企業のプロクレスト社買収について、当局の審査に時間を要しており、買収完了が当初想定されていた時期よりも後ずれしている事がマイナス材料となりました。

■ 組入銘柄の紹介

■ アンフェノール

(業種名：情報技術、タイプ名：オペレーター、組入比率：6.2%)

同社はコネクタやセンサー、アンテナなど様々な製品を提供する米国の電子部品メーカーです。産業機械や自動車、モバイル端末など、様々な用途向けに製品を提供しています。同社はM&Aを経営戦略の中核に据えており、過去10年間で約50社の買収を実施しています。運用チームでは、数々の買収を通じ、製品のラインナップの拡充やコスト削減などのシナジー効果を発揮してきた実績を評価しています。足元では自動車や産業機械向けのコネクタやセンサー関連のM&Aに注力しています。



M&Aの着眼点

今年に入り同社は、自動車や航空産業向けのセンサー製品に強みを有するMTSシステムズ社や、ハイエンドなコネクタ製品に強みを有するポジトロニック社を買収しています。競合を買収することでクロスセルやコスト削減などのシナジー効果などを期待しています。

■ ストライカー

(業種名：ヘルスケア、タイプ名：オペレーター、組入比率：5.6%)

同社は米国の医療機器メーカーです。人工関節など、整形外科用のインプラント製品や手術機器に強みを有しています。同社はM&Aによる成長を重視している一方、「買収後、一定期間内に投資資金の回収見込みがない買収は行わない」など、M&Aについては厳格な規律も設けています。同社は競合を買収し、クロスセルやコストダウンなどのシナジー創出を得意としており、運用チームでは同社のM&Aに対する規律や過去のシナジー創出実績を評価しています。



M&Aの着眼点

昨年同社は、手首・肩・足首向けのインプラント製品のトップメーカーのライト・メディカル社を買収しました。世界的な長寿化に伴い、整形外科用のインプラント製品への需要は増加基調であり、同社は同分野を高成長領域として捉え、強化しています。同分野で高いシェアを有するライト・メディカル社を統合することで製品ラインナップの拡充や、自社販売網との統合による売上・コストシナジーが創出されることに期待しています。

※組入比率は2021年10月28日時点(現地)。

■ 組入銘柄の紹介（続き）

■ ザ・ウォルト・ディズニー・カンパニー

（業種名：コミュニケーション・サービス、タイプ名：オペレーター、組入比率：2.7%）

同社は映画製作やコンテンツ配信、テーマパーク運営を手掛ける米国のエンターテインメント企業です。同社は著名コンテンツ企業を多数買収し、テーマパークへの導入、新作映画の制作やグッズ販売の強化を通じてコンテンツの収益性を高めてきた豊富な実績を有します。運用チームは、買収コンテンツの収益力を最大化する同社の統合手腕を評価しています。他社の追随を許さないコンテンツ・ラインナップを有する同社は、足元ではオンライン配信事業を強化しており、同分野における買収を積極的に展開しています。



M&Aの着眼点

同社は動画ストリーミングサービス強化のために、2017年に動画配信技術に強みを有するバムテック社を、2019年には定額動画配信サービスのHulu社を傘下に収めました。同社の映画などのキラークンテンツを動画ストリーミングサービスで展開させることで、これまでNetflix社やアマゾン・ドット・コム社によって寡占されていた業界の勢力図を塗り替える可能性があります。

※組入比率は2021年10月28日時点(現地)。

今後の見通しと運用方針

新型コロナウイルスをめぐっては、ワクチン接種の進展に加えて、経口治療薬の開発が進展するなど、感染予防や治療方法の確立に向けた動きがみられます。景気回復を背景に企業業績は改善傾向にあるものの、多くの企業が資源価格上昇やサプライチェーンタイト化に伴うコスト上昇への対応を迫られています。

このような環境下においては、外部成長を取り込むことにより、着実に業績拡大が期待できる企業への投資が有効と考えます。当ファンドではM&Aによるシナジー効果などを通じて持続的な業績拡大を実現し得る「M&A巧者」に着目します。企業を取り巻く環境はコロナ禍を経て大きく変化したといえ、このような変化に柔軟に対応する事が企業の持続的な成長の鍵を握っていると考えます。激変する社会経済において、卓越した目利き力でM&Aを成功に導く「M&A巧者」への投資は、魅力的なリターン創出機会を提供していると考えます。

当ファンドでは、景気回復を織り込み、短期的に割高な水準まで株価が上昇した銘柄についてバリュエーションの観点から投資比率を引き下げてきました。一方、買収によるシナジーに鑑みて株価水準の割安感が強い銘柄については、組入比率の引き上げや新規組入をするなど、積極的な投資を実施しています。「M&A巧者」のタイプ別では、統合推進力に優れた「オペレーター」のウェイトが相対的に高くなっています。買収先企業の統合によって相乗効果（シナジー）を創出するスキルを有する企業は、景気回復の過程で付加価値創出余地が大きく、特に魅力度が高いと考えています。

引き続き、卓越した目利き力でM&Aを成功に導く「M&A巧者」を厳選しつつ、バリュエーションにも注意を払った運用を継続し、長期的に優れたリターン獲得を追求します。

グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス） の運用状況（基準日：2021年10月末）

※ニューバガー・バーマンが提供するデータ等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

資産別構成			国・地域別構成		業種別構成	
資産	銘柄数	比率	国・地域名	比率	業種名	比率
株式	23	97.6%	米国	69.5%	情報技術	20.4%
			カナダ	10.4%	金融	19.9%
			フランス	4.8%	資本財・サービス	17.0%
現金等		2.4%	日本	4.7%	コミュニケーション・サービス	15.5%
合計	23	100.0%	オランダ	4.2%	ヘルスケア	11.4%
			英国	3.9%	一般消費財・サービス	9.0%
					不動産	2.6%
					生活必需品	1.8%

通貨別構成		タイプ別構成	
通貨名	比率	タイプ名	比率
米ドル	81.5%	オペレーター	53.1%
ユーロ	9.1%	コングロマリット	23.4%
カナダ・ドル	4.9%	インキュベーター	21.1%
日本円	4.5%		

※上記には現金等も含まれます。

「オペレーター」：事業統合でシナジー効果を創出し成長を加速させるタイプの企業
「コングロマリット」：幅広い産業の優良事業を有利な条件で取り込むタイプの企業
「インキュベーター」：有望企業を発掘し、大きく育てるタイプの企業

組入上位10銘柄				
銘柄名	国・地域名	業種名	タイプ名	比率
IACインタラクティブ	米国	コミュニケーション・サービス	インキュベーター	6.3%
アンフェノール	米国	情報技術	オペレーター	6.2%
インターコンチネンタル・エクスチェンジ	米国	金融	インキュベーター	5.8%
ストライカー	米国	ヘルスケア	オペレーター	5.6%
パークシャー・ハサウェイ	米国	金融	コングロマリット	5.6%
ブルックフィールド・アセット・マネジメント	カナダ	金融	コングロマリット	5.5%
トランスダイム・グループ	米国	資本財・サービス	オペレーター	5.2%
WEX	米国	情報技術	オペレーター	5.1%
ローバーテクノロジーズ	米国	資本財・サービス	コングロマリット	5.0%
コンステレーション・ソフトウェア	カナダ	情報技術	インキュベーター	4.9%

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※上記データは、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日のデータに基づきます。

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

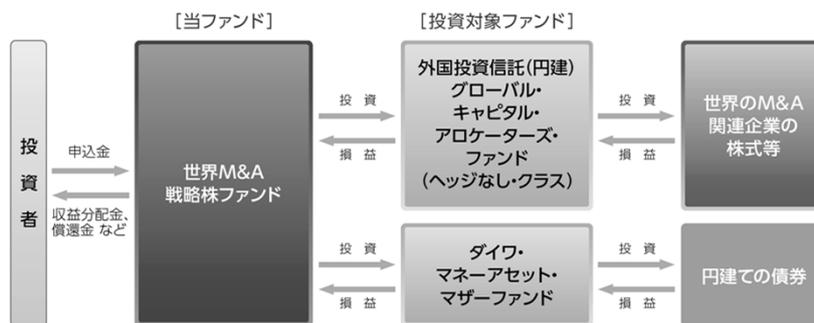
Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 日本を含む世界のM&A関連企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. M&Aを成長戦略の要とし、外部成長の取り込みにより企業価値向上を図っている世界のM&A関連企業の株式等に投資を行ないます。
(注) 株式等には、DR(預託証券)、リート(不動産投資信託証券)、優先証券を含みます。
2. 運用は、ニューバーガー・パーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーが担当します。
3. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
外国投資信託の受益証券を通じて、世界(日本を含みます。)のM&A関連企業の株式に投資します。



※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資対象ファンドの概要」をご参照ください。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、リートの価格変動、優先証券の価格変動)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

I ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1275% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.66%程度 (最低報酬額が定められているため、純資産総額によっては上回る場合があります。)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.7875% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントが作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

世界M&A戦略株ファンド（愛称：目利き力） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。